

## 「見て」「触れて」「喋る」 サテライトブースを開設



1日目 - 戦闘糧食展示



1日目 - 来場者



1日目 - 鉄棒・防弾チョッキ試着

自衛隊茨城地方協力本部（本部長・栗秋一空佐）は、令和7年7月1日から5日までの間、JR水戸駅において臨時サテライトブースを開設した。サテライトブースは、広報キャンペーン「陸海空自衛隊サマー・フレンドシップキャンペーン」と連携して、陸上自衛隊の日・海上自衛隊の日・航空自衛隊の日・女性自衛官DAY・混成の日を各日毎に実施した。サテライトブース開設に当たり、陸上自衛隊から関東補給処と東部方面後方支援隊、海上自衛隊から第4航空群第4整備補給隊、航空自衛隊から第7航空団と百里救難隊からそれぞれリクルーターの支援を受けた。

1日目の陸上自衛隊の日は、戦闘糧食の展示や鉄帽・防弾チョッキの試着が行われ、立ち寄った来場者は試着をして楽しんでいた。

2日目の海上自衛隊の日は、色とりどりの紐を使った組紐体験や海上自衛隊砕氷艦「しらせ」が持ち帰った南極の氷が展示された。特に南極の氷は、手で触れることで氷が解け、閉じ込められた気泡がはじける感覚を直接手の平で感じられ、来場者はその感触に驚いていた。

3日目の航空自衛隊の日は、VR体験や飛行服の展示、F-4戦闘機コックピットの展示が行われた。百里基地から現役のパイロットが派遣され、コックピットの計器類や操縦桿の説明を直接実施した。来場者からは「臨場感があってすごい」など声が上がった。

4日目の女性自衛官DAYでは、前日までと雰囲気が変わり、女性自衛官のみでブースが構成された。来場者も必然と女性が多くなり、男性自衛官では伝えられない自衛隊の魅力を伝えることができた。さらに茨城県出身の自衛隊阪神病院長の内藤陸将補がブースを訪れ、来場者と楽しく交流を交わした。

5日目の混成の日では、陸海空自衛官がそれぞれの立場で自衛隊をPRした。来場者の中には、初日から最終日まで連日訪れてくれた方もおり、サテライトブースは大盛況のうちに幕を下ろした。

自衛隊茨城地方協力本部は、これからも地域に密着した広報を実施して、引き続き一人でも多くの方々に自衛隊に対する理解を深めていく。



2日目 - 組紐体験



2日目 - 南極の氷



3日目 - F-4 コックピット体験



3日目 - 飛行服展示



4日目 - 女性自衛官DAYブース



4日目 - 内藤陸将補交流



5日目 - サプライズ



5日目 - 陸空自衛官